

「論語とSDGs」 webセミナー in 閑谷学校

特別史跡旧閑谷学校の文化財を活用した研修を通して、先人の業績から永続する思想や建築物の在り方を学ぶ、現在の課題を改善し、未来を拓く知見を得るとともに、SDGsの視点を学ぶことによって持続可能な社会を実現する方法を考える。

開催団体

主催：岡山県青少年教育センター閑谷学校
共催：リコージャパン株式会社 岡山支社
後援：備前市、和気町、赤磐市、瀬戸内市

内容

日時：2021年3月17日（水）14:30～16:30
会場：岡山県青少年教育センター閑谷学校 3-5研修室
参加方法：(1)直接来場にてご参加:30名
(2)オンラインにてご参加:80名(Zoom ウェビナー)



リコージャパン（株）岡山支社
MAグループ 山本 亮

セッション1 14:30～15:00「いまからはじめるSDGs」
セッション3 16:00～16:30「企業とSDGs」

SDGsは理解しているが、会社は何をすべきなのか…。
会社が持続可能になるためには、地域から必要とされなければなりません。そのためにSDGsを使って今一度自社を見直してみませんか。
新たな時代で持続可能な会社になるためのヒントをお話します。



岡山県青少年教育センター閑谷学校
所長 香山 真一

セッション2 15:15～15:45「論語とSDGs」

『論語と算盤』の渋沢栄一は、2021年の大河ドラマの主人公、そして2024年からの新1万円札の顔です。混迷の時代には、普遍的な道徳と利潤の調和を図った渋沢の言葉が大きなヒントとなります。そこで、「論語とSDGs」というテーマを設定して、道徳と持続可能な開発の調和の好事例として、閑谷学校を再発見してみたいと思います。